

堺第7-3区共生の森・草原班活動報告（6月16日）

日時：6月16日（火）13：00～15：00

メンバー：野鳥の会（清水、常石、加藤、吉田）

NPO法人共生の森（寺川） 大阪自然環境保全協会（栗山、渡辺、金谷）

どんよりと梅雨空と思っていたらかなり大粒の雨になりました。それほど激しい雨でもなかったので一区切りがつくまで作業をしました。おかげで全身ビシヤ濡でした。作業時間は約1時間でした。

最初、実験地を見たとき、「おお！よく育った」と思ったものの、あとでよく見るとほとんどがセイバンモロコシ（大きいもので70～100cm）でした。この1月の間に、セイバンモロコシが優勢になったようです。オギは、約50cm前後で生育状況は良いとは言えません。クズの侵入はまだ一部でした。

刈払機講習を受けて「免許皆伝」の栗山さんががんばって実験地南側のセイタカアワダチソウを刈ってくれました。機械力は大了たものです。



↑実験地、セイバンモロコシが優勢です。



↑栗山さんが刈払機でがんばってくれました。



↑せっせとセイバンモロコシを刈る寺川さん。



↑オギとセイバンモロコシの違いを説明する寺川さん。

草原班の作業は、毎月第3火曜日、次回は、7月21日（火）です。

報告 金谷 薫

「作業に先立つ昼食時に、今年度の草原班の活動について野鳥の会のみなさんと打合せをしました。第2回目のオギ移植について助成金を申請すること、11月以降の「森MORIサンディ」でも草原班の活動を行い、探鳥会と保全作業を組み合わせるとの参加者も募ること、などを相談しました。」(寺川裕子)